OTTAVA f SC-C70 に関する質問事項

以下は、PANASONIC 相談窓口への OTTAVA f SC-C70 に関する質問事項です。質問は、PANASONIC の指定する HP 内の問い合わせフォームから実施しました。

第 1 回質問事項

【1】製品付属の取り扱い説明書（以下、付属マニュアル）では、本機のすべての再生機能の詳細な操作に必要な情報がありません。そこで Technics Music App についてのネット検索で Technics Music App for Smartphones のサイトに行き当たり、そこから TechnicsMusicApp_UserGuide_iOS（以下、詳細マニュアル）と Technics Music App をダウンロードしました。この詳細マニュアルは数種の機種の共通マニュアルのようですが、これを使用することで問題ありませんか。また、これが付属マニュアルを補完するものであれば、付属マニュアルとの繋がりを明確にした上で、こういう操作はここを見るというような指示を付属マニュアルに含めるべきではありませんか。なお、テクニクス試聴室の担当者はこの詳細マニュアルの存在をご存知ありませんでした。

【2】この 70 ページに及ぶ TechnicsMusicApp_UserGuide_iOS には目次や索引がなく、所定の項目にたどり着くことが画面上では困難であること、印刷すると、字が薄かったり、細かくて読めないこと、アイコンと用語の対応が分かりにくいこと、実際の画面とマニュアルの画面とが一致しないことが問題です。テクニクス試聴室の担当者には印刷物現物で照合しつつ確認してもらいました。読みやすい印刷物は提供してもらえないのでしょうか。

【3】付属マニュアルには、USB Storage に使えないものがあるとの注意書きがあります。実際やってみると、USB-HDD、USB-SSD、SD カードリーダーのいずれもサポートされているものとそうでないものがありました。その違いは USB Storage のどのような特性、仕様によるものでしょうか。なお、OPPO 社の Sonica DAC では、USB Storage からの再生についてテストしたものすべてが認識されました。

【4】Player Control ボタンをクリックして出てくる画面の中の操作についての質問です。

・Tone Control の High/Mid/Low のセンター周波数はどのようなものでしょうか？

・Sound Setting の CD 再生のリマスターとはどのような処理をしているのでしょうか？

・Setup 項目の個々の設定はどのようなことをやっており、どのような意味を

持つのでしょうか？
なお、テクニクス試聴室の担当者からは上記について明確な回答を得られませんでした。
【5】ミュージックサーバーからの再生操作についての質問です。
・SC-C70 と同じネットワーク環境下にある NAS から 5.6MHzDSD を上限とする DSD 音源の再生が可能でした。この場合はマルチビットへの変換後に DA 変換しているようですが、どのような変換プロセスを経由しているのでしょうか？他機の経験から 176.4KHz24bit に変換後 DA 変換しているものと推測しています。なお、テクニクス試聴室の担当者からは上記について明確な回答を得られませんでした。
【6】ステレオサウンドオンラインの記事によれば、SC-C70 はベルリンフィルとパナソニック/テクニクスの協業の最初の成果ということのようですが、具体的に SC-C70 のどのような仕様、機能に協業の成果が反映されているのでしょうか。ちなみに質問者は日常的にベルリンフィルディジタルコンサートホールを楽しんでおります。
http://www.stereosound.co.jp/review/article/2017/09/22/60832-2.html

第 2 回質問事項
【7】SC-C70 とルーターとの LAN ケーブルによる接続が問題なく確認できた後、無線 LAN 接続を試みました。付属のマニュアルの P14 に従い、LAN ケーブルを外して、電源 ON にしますと、マニュアル記載の「WiFi Setup」が表示されず、その前に再生していた表示が出てくるだけです。一度 LAN ケーブルによる接続を行った後、改めて無線 LAN 接続を行うための手順（メモリーのクリーンアップなど？）をご教示ください。なお、テクニクス試聴室でご教示いただけるなら機会をみて訪問します。

第 3 回質問事項
【8】【3】のご回答に関連して、使用できる USB Storage の選択条件のご教示内容は、今後の参考にいたします。なお、OPPO 社の Sonica DAC(ネットワークプレイヤーとしても機能)では、SC-C70 のような制限はなく、自由に使えましたので、このような制限があることは残念に思います。
【9】【4】のご回答に関連して、Tone Control の High/Mid/Low の調整については、さほどの効果がなかったことの理由が分かりました。テクニクスのグラフィックイコライザーSH-8035 の長年の使用経験から、High:8kHz は良しとしても、Low:200Hz と Mid:1kHz は、少し的外れではないかと考えます。Low は少なくとも 100 Hz 以下、Mid は耳につきやすい 2～3kHz が妥当ではないかと

考えます。
Sound Setting の CD 再生のリマスターの処理についてもさほどの効果がなかったことの理由が分かりました。使用しているチップなどの制限があるかと思いますが、DMR-UBZ1 が 176.4KHz までのアップサンプリングが可能で、効果も大きいことから残念なことです。
Setup 項目の個々の設定の意味について理解できましたので活用してみます。
Bluetooth の Mode 選択は音質の面から興味があります。
なお、以上のようなご説明は本来マニュアルの中に記載しておくべきと考えます。
【10】【5】のご回答に関連して、DSD 音源は 88.2kHz に変換されていることは、DMR-UBZ1 では 176.4KHz に変換されていることからして、残念なことです。
【11】【6】のご回答に関連して、ご説明にあるような効果は、ベルリンフィルディジタルコンサートホールを日常的に鑑賞し、また欧米のオーケストラのコンサートに通っているものとして、協業の成果として実現できているようには聴きとることができませんでした。なお、現在は暫定的に花瓶台の上に置いてあり、サブウーファーが下向きについていることもあって花瓶台が振動し、音を濁らせていますので、専用ボードをもらえるというキャンペインの応募をしており、このボード入手後に改めて評価を行います。
一つ質問ですが、ご回答に「デジタル・コンサートホールを再生することも考慮」とありますが、SC-C70 の現状の機能として実現できているのでしょうか？それとも今後の発展を志向したということでしょうか？もし現状の機能として実現できているのならその手順を教えてください。現在は PC で受信しています。
【12】【7】のご回答に関連して、LAN ケーブルによる接続を行った後、改めて無線 LAN 接続を行うための手順についてのご説明ありがとうございました。これを参考にして実施し、うまく行かない場合はテクニクス試聴室を頼ることとします。
なお、このようなご説明は本来マニュアルの中に記載しておくべきと考えます。

第 4 回質問事項
【13】【5】のご回答の NAS からの DSD 音源の再生はいったん 88.2KHzPCM にダウンコンバートされるとのことに関連して、192Kz あるいは 176.4KHzPCM 音源はそのまま DA 変換されるのでしょうか？それとも 96KHz あるいは 88.2KHz にダウンコンバートされてから DA 変換されるのでしょうか？

第 5 回質問事項
【14】【11】の質問に関するご回答について
「タブレットのデジタル・コンサートアプリを AirPlay 機能を使って、受信するケースを考慮」とありますが、AirPlay 機能は送信であって、WiFi 機能を使って受信ということではないでしょうか？そうすると SC-C70 への送信は Bluetooth に依ることとなります。タブレットの WiFi 機能を切ってデジタルコンサートを 4G で受けると、また、今度は AirPlay 機能が使えず、やはり Bluetooth に依ることとなります。Bluetooth 送信によるデジタルコンサート再生は実際にやってみましたが、音質的にはかなり劣化してデジタルコンサートの本来の音質を享受することはできません。
「タブレットのデジタル・コンサートアプリを AirPlay 機能を使って、受信するケースを考慮」とは、新たに Spotify Connect のようなことができるようになるという意味でしょうか？用語の意味も含めて整理していただけませんでしょうか。
【15】現在、キャンペイン中のオーディオ専用ボードの応募をし、受付のメールもきました。いつ頃入手できますでしょうか？ちなみに製品同梱の中には応募方法の案内がなく、販売店に調べてもらって応募サイトを確認しました。

第 6 回質問事項
【16】【14】の質問に関するご回答について、ご回答に時間がかかるということでテクニクス OB の方のつてを頼って、ちょうど開催中のサウンドセッション in Osaka2017 のテクニクスブースのご担当殿のご面識を得て、ご指導を得ました。その結果、ベルリンフィルディジタルコンサートホールのアクセスにおいて、モバイル上から Air Play 画面を開く手順と SC-C70 を指定する手順を教えていただきました。結論をいうと iPhone 6 Plus は Air Play ができて、iPad 5 上では Air Play ができませんでした。
この手順により iPhone 6 Plus では Air Play 画面に SC-C70 が出ますので、これを選択することによりベルリンフィルディジタルコンサートホールの音が iPhone から消えて SC-C70 から出ることが確認できました。まったく同様の手順により iPad 5 上で行いますと、Air Play ミラーリング画面がでますが、そこには SC-C70 はなく、Apple TV のみが出てきます。従って SC-C70 から音を出すことができません。もちろん iPad 5 から SC-C70 での CD 再生その他のコントロールは可能な状態です。
残念ながら iPhone の Air Play の音質は、従来の PC によるベルリンフィルディジタルコンサートホールの再生を USB-DAC から音出しをすることに比べて音質的なメリットはなく、「ベルリンフィルとの協業の成果」を云々できるレベ

ルではありません。ネット上の貴社スタッフへのインタビュー記事の内容はこういう記事にありがちなもので過剰な期待を抱きすぎたものと認識しています。以上から中途半端な結果になっており、iOS のバージョンなどとの関係など、iPad でうまく行かない原因追求も残りますが、音質上のメリットもなさそうなことから、これでいったんクローズしたいと思います。